

医療法人財団 愛泉会

愛知国際病院

老人保健施設 愛泉館

2020年 春
vol.96

みちよみやま

特集

声を聞く。心を聴く。

私たちの原動力です！

CROSS people

外来看護師×地域包括支援センター

医療法人財団 愛泉会で働く仲間たち

「訪問看護ステーションえまい」



声
を聞く。心を聴く。

私たちの原動力です！

外来、病棟、訪問看護、老健などがスムーズに連携することで途切れない医療・介護をお届けしている愛泉会。地域の一員として、一つひとつの声を大切に受け止めそれぞれの専門性を活かしながら解決への道を一緒に考えます。



外来

内科でも外科でも総合的な診療を重視
当院にはさまざまな専門医が常駐しており、総合的な診療を心掛けています。お困りの症状があれば遠慮なくご相談を。不安が少しでも軽くなるよう寄り添います。
愛知国際病院
院長 太田 信吉



訪問看護

その思い、全力でサポートします
医師の指示のもと、他職種とも連携しながら、点滴や注射などの必要な医療処置を、私たち看護師がご自宅で行います。
訪問看護ステーション えまい
看護師 辻 かおり (右)

訪問リハビリ

動作に不安があって「動けない」ことも
体力に合わせた運動療法や自主トレメニューをご自宅で指導いたします。ご自宅の環境に合わせた福祉用具選びなどもご相談ください。
訪問看護ステーション えまい
理学療法士 茶木 牧美 (左)

病棟

地域とも連携しながら退院を支援します
入院時から患者さん・ご家族の思いをきちんと確認し、安心してその人らしい生活へ移行できるよう、多職種で関わっていきます。
愛知国際病院 退院支援看護師 塩田 幸



最近、お腹が痛くて……。しっかり診てもらうには何科を受診するのが一番いいの？

どうすれば介護保険って使えるの？

できるだけ最期まで家で過ごしたいなあ

退院後、父は家で寝てばかり。体力低下が心配…

杖を使っているけど、これで合っているかな？

退院しても自宅生活が続けられるかな…

退院後の介護が大変そう。私にできるかしら



愛泉館

退院後も引き続きフォローいたします！
退院(所)後も安心して暮らせるよう、リハビリを継続するなど、介護負担の軽減へとつなげます。まずは一度見学にお越しくださいね。
愛泉館 相談員 長屋 貴文

車の免許を返納した。通院にタクシーを使うとお金がかかるなあ

夜のトイレ介助が困難。家に連れて帰れないかも…

母の認知症が進んでいるようで不安…

隣のおばあちゃん、最近見ないわ…

家族になるべく迷惑かけず、生活できる場がほしい

病気になってお金のことが心配…

地域医療連携室

幅広いネットワークで一緒にお探します
施設や居宅事業所などと連携を図り、お体の状態に合わせた生活の場をご紹介します。訪問診察や医療福祉制度のご相談もお受けします。
地域医療福祉連携室
左から堀井 康子、岡田 みどり、松木 由紀子



居宅(介護支援)

金銭面での不安まずはご相談ください
愛知国際病院なら、巡回バスが出ているのでご安心ください。外出が難しい方は、介護保険を使って訪問診療もできます。まずは主治医にご相談を。
指定居宅介護支援事業所 愛泉館
宝木 百代

リハビリ

まずは気になる言動をメモしてみましょう
そのメモをもとに医師、看護師、作業療法士などが多職種で症状を把握し、アプローチします。生活環境に合った対処方法を一緒に考えましょう。
愛知国際病院 作業療法士
門田 亜紀



愛泉会は「みなさんの声」で広がってきました！

1981年に病院を開業して以来、地域の声やニーズに応えながらご本人らしい生活を支えます。

地域に寄り添う病院を…

愛知国際病院



地域と共にあり、支えられ、育てられる医療・病院を目指して1981年に日進市に開院。スタッフ20数名からのスタートでした。

訪問看護ステーション「えまい」



通院が難しい方にも必要なケアを…

通院が難しくなったり、寝たきりになった患者さんのことを考えて、開院当初から訪問看護を始めました。

老人保健施設「愛泉館」



ご自宅での生活を続けられるように…

介護やリハビリが必要なお年寄りの家庭(社会)復帰を目標に、生活リハビリを提供する施設を設立しました。

ホスピス病棟



地域にホスピス(緩和ケア)を…

愛知県内にホスピスがなかった1999年、市民の切実な願いとともに、全20床の独立型ホスピスが設立されました。

住宅型有料老人ホーム「カナン」



最期まで安心して暮らせる家を…

要介護認定を受けられた方が、安心して生活を続けられる終の住処として設立。デイサービスも併設しています。



考え、介護保険など社会資源の利用につなげたりしています。

岩本 家に引きこもっている方はどう過ごしているかわかりません。ご自宅を訪問して様子を確認できる地域包括支援センターの役割は大きいですね。介護保険がスタートして20年ですが、どんなサービスがあるのか、まだまだ知らない方は多いので、その橋渡しをする役目も担っていると思います。もちろん介護保険以外のサービスも含めて。

横山 じつは僕、生活状況をきちんと把握しながらトータルに高齢者を支援したくてケアマネジャーの資格を取りました。とはいえ「訪問して

ほしくない」「介護保険やデイサービスは利用したくない」という人もいますので、自分たちの判断だけで物事を進めたいと考える方もいます。

岩本 患者さんが主役ですから、ときには引いて相手をそっと見守ることも大事ですね。ただ、デイサービスに抵抗のある方でも「運動しに行ってみませんか」と言葉を選ぶとスムーズに運ぶこともあるので、相手の気持ちに寄り添いながら、最善の方法を一緒に見つけていきたいと思っています。



地域包括支援センター センター長代理 横山 英治 外来師長 岩本 佐美

受け身ではなく、こちらから気づいてアプローチすることも看護師の仕事。



ご自宅を訪問したときに
見えないところまで見るのが大事。

病院で、施設で、訪問先で
地域の一員として、できることから。

横山 今回の特集のテーマが「声を聞く」「相談に乗る」ですが、外来看護師のみなさんには実際、どんな声や相談が寄せられますか。

岩本 質問とは少し違う答えになってしまうかもしれませんが、私たちが看護師が日頃から気遣っているのは、困っているのに声にすることができない人、だれにも相談できない人です。最近、患者さんの高齢化が進んでいることもあって、通院されている方の様子から変化を感じることがけっこうあります。「表情に活気がない」「よく転んでいるようだけど大丈夫かな」とか……。

横山 4週間分の薬が処方されているはずなのに、早いタイミングで受診に来る高齢の患者さんとか。

岩本 そうです、そうです。そういうたちよつとした変化から、体力や意欲の著しい低下、認知症の発症など、こちらから気づいたら、早めにアプローチするようにしています。

法人内の専門家ネットワーク

岩本 愛泉会の強みは、外来、病棟、訪問看護、老健とのネットワークを活かして、つなぎ目のないサービスがタイムリーに提供できることだと思います。ご本人やご家族だけでなくケアマネジャーさんともよく情報のやりとりをしています。

横山 僕たち地域包括支援センターにとって愛知国際病院は、専門的なことをいつでも相談できるのがありがたいですね。みなさん勉強熱心だし。

岩本 先日、車椅子に座ると体がずれてしまう患者さんがいて、リハビリさんに相談したらクッションの入れ方を工夫して、その場で解決！これは一例で、愛泉会のスタッフは「業務として」「人として」「働く気持ち」が強いから、患者さんのためにすぐ動く。自分で解決できなければ人に聞くなどして「わからない」で終わるにはしないんです。

横山 岩本さんの仕事への想いがすぐく伝わってきました。これからもどんどん相談させてください(笑)。

横山 看護師さんから「ちょっと心配な患者さんがいるんだけど」と地域包括支援センターに連絡をいただくたびに、ささいなことにも目を向ける「気づき力」はすごいなと思います。感心しています。

岩本 看護師って、地域の「一員」として、人として、相手に関心を持つことが大事。すると、いろいろな気づきが生まれるから。患者さんの声にならない声を聞くことから看護師の仕事は始まると私は思っています。地域包括支援センターにも、日々多くの相談がありますよね。

横山 ご家族からの相談が多いですね。「両親の物忘れが多くなった」「怒りっぽくなった」とか。意外なところでは、お一人暮らしをされている近所の方から「最近、あの人を見かけない」と連絡が入ることも。そういった相談事がきっかけで、地域包括支援センターがご家族を含めてご本人にお会いして、ベストな方法を一緒に

Profile

地域包括支援センター センター長代理 横山 英治

病院勤務を経て、介護福祉士の資格取得後、2003年老人保健施設愛泉館に入職。その後、ケアマネジャーの資格取得、2008年指定居宅介護支援事業所、2014年地域包括支援センター。



外来師長 岩本 佐美

2004年入職。2児の母として、子育てで忙しい時期は非常勤として勤務。2013年常勤となり、2016年外来師長に就任。「来て良かった」と思われる外来を目標にチームをまとめる。



みなさんの声にお応えします!

愛泉会の心強い相談窓口

病院でも施設でもご自宅でも、自分のことでもご家族のことでも、「少し不安だけど相談するまででもないかな」ということでも、まずは声に出してみませんか。愛泉会にはさまざまな専門家がいます。一つの相談窓口から、さまざまな専門家へ…地域のみなさんの安心を支えるために広がるネットワークです。



愛知国際病院 地域医療連携室

☎0561-73-9179

【受付時間】月～金曜 9:00～17:00 土曜 9:00～12:30

【主な相談内容】

- 入退院支援 ●医療相談 ●社会資源の活用方法 ●訪問診察 など

医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、事務職員が院内・院外と連携を取りながら、医療福祉制度の知識を活かし、地域のみなさんの健康をサポートします。



愛知国際病院 ホスピス相談窓口

☎0561-73-3191

【受付時間】月～金曜 9:00～16:00

【主な相談内容】

- ホスピスの生活 ●手続き ●費用 ●入院のタイミング など

ホスピス(緩和ケア)病棟について専門相談員がご案内します。入院のタイミングなど、お気軽にご相談ください。ホスピス見学も随時受け付けています。(要予約)



訪問看護ステーション えまい

☎0561-73-8154

【受付時間】月～金曜 9:00～16:30

【主な相談内容】

- 訪問看護 ●訪問リハビリ ●施設入所者の体調管理 など

かかりつけ医の訪問看護指示書に基づいて、日常生活の看護やリハビリを提供するだけでなく、24時間体制で看取りを含めた訪問看護も行います。



老人保健施設 愛泉館

☎0561-74-1711

【受付時間】月～金曜 9:00～17:00 土曜 9:00～12:30

【主な相談内容】

- 入所・ショートステイ・通所の利用方法 など

ご利用者さんやご家族の毎日がより過ごしやすくなるよう、入所・ショートステイ・通所など、さまざまなサービスの利用方法をご提案し、高齢者の在宅生活を支援します。



指定居宅介護支援事業所 愛泉館

☎0561-74-1341

【受付時間】月～金曜 9:00～17:00 土曜 9:00～12:30

【主な相談内容】

- 介護保険サービスのプラン作成・相談

介護保険の認定を受けられた方が、ご自宅で安心して過ごすことができるように支援します。お話を伺いながら、ご本人らしさを活かせるケアプランを作成します。



日進市東部地域包括支援センター

☎0561-74-1300

【受付時間】月～土曜 9:00～17:00

【主な相談内容】

- 高齢者の総合相談窓口

主任介護支援専門員、社会福祉士、保健師など多職種のチームで地域の医療・介護・福祉などを総合的にサポート。ご相談内容によっては、最適な窓口をご案内します。



医療法人財団 愛泉会で働く仲間たち

職場のこと 仕事のこと

訪問看護ステーション「えまい」 病院から離れていても、24時間体制で生活を支援

毎朝のカンファレンスで情報を共有します。



病棟看護師とも密に連携できるのが「えまい」の強みです。ご利用者さんのご自宅を訪問します。理学療法士が同行することも。

かかりつけ医からの訪問看護指示書をもとに、看護師や理学療法士がご自宅を訪問します。医療依存度の高い方や在宅での看取りを含めた在宅緩和ケア、たとえば併設病棟のホスピスに入院するまでの療養サポートも行います。ご自宅ではご家族がケアの担い手になるので、ご利用者さんの心身や生活の様子だけでなくご家族の健康にも気を配り、介護指導や療養相談を通して負担を少しでも減らします。看護やリハビリの状況はかかりつけ医をはじめケアマネジャーや多職種とも情報を共有。緊急時は医師と細やかに連携し、病院と離れて不安で過ごすご利用者さんやご家族



かかりつけの医師を交えたカンファレンスも行っています。

を、24時間体制で支えます。生活の場であるご自宅では、今まで大事にしてこられた暮らしや、ご家族との関係を受け止めます。そして病气や障害があっても住み慣れた地域で生活を続けられるよう支援。「えまい」の語源は「ほほえみ」です。安心してその人らしくお過ごしいただけるよう、寄り添いお手伝いします。

気軽に相談ください!



所長 鈴木 功子

2000年に愛知国際病院に入職。2001年「えまい」に異動、2007年所長に就任。訪問看護を通して在宅ケアの奥深さを知る。



訪問看護ステーション「えまい」のみなさん。

職場のこぼれ話

チームワークが自慢です! 昨年、事務所を自分たちの手でリニューアル。のれんはスタッフの手作りで、夏場は入り口に飾ってお出迎え♪

手作りのれんだよ!

訪問看護

えまい

リレーでつづる Dr. ひだまり日記

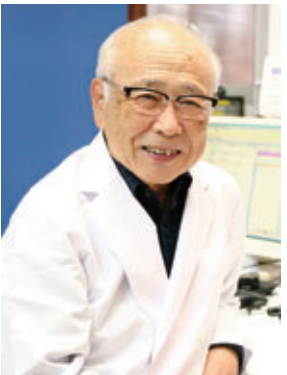
朝顔日記

膠原病内科 鳥飼 勝隆

小学校の夏休み、朝顔栽培の宿題のため、咲いた花の数を日記帳に書きこんだ思い出はありますか。それは身近な朝顔ですが、実は深い歴史のある花で、江戸時代から盛んに栽培され、明治時代には各地で展示会が開かれたそうです。作風は地域によって異なり、行灯風の支柱に這わせる江戸の「行灯作り」に対し、尾張の伝統は、花は大輪で華やか、草姿は小さく切り込む盆栽風の「盆栽切込み作り」が特色です。

ある夏、たまたま名城公園での展示会を観た私は、その風格のある涼しげな和の佇まいに魅せられ、その後、名古屋朝顔会に入会し、毎夏、朝顔を育てています。

上手に育てるには、朝顔との対話が必要です。肥料や水遣り、日照を配慮し、この間、長期の外出は困難です。途中、時期を見計らい、2日ほど鉢を早めに暗所に



移して花芽が出るように促します。その年の気温にも左右されますが、丁度5週後の展示会の期間中に開花してくれると、苦労が報われて幸せ一杯になります。みなさんが丹精込めて育てた百鉢近くの朝顔が会場に色とりどりに咲き揃うと、それは見事です。

名古屋城の「金の鯨」は尾張の自慢ですが、盆栽切込み作り大輪朝顔も絶やしてはならない尾張の貴重な伝統の一つです。そんな思いで、今年も頑張つて育てようと思つています。

Next Doctor >>> 消化器内科 大北 宗由先生です。お楽しみに!

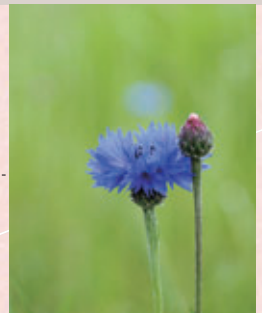
～病院のお庭から～ Photo Letter

初夏の風にそよぐ花

ボランティアの方がお世話をしてくださっているホスピス東のガーデンは、桜の時期が過ぎると初夏の花々が一斉に咲き出します。サラサラと音を立てて風にそよぐのはムギセンノウ。カメラのシャッター速度を遅くしてサラサラ感を出そうと試みるのですが、なかなか思うようにはいきません。

同じ時期、あざやかなウルトラマリンブルーの花を咲かせるのがヤグルマソウ。鯉のぼりの竿の頂部を飾る矢車に似ていることからこの名前がついたそうです。

ムギセンノウやヤグルマソウに比べると丈が低く、足下に咲くのがヒルザキツキミソウ。待宵草の仲間ですが、昼に咲くのはこの花だけなので、昼咲き月見草と呼ばれるのだそうです。初夏の風にそよぐ花々をお楽しみください。



ムギセンノウ



ヤグルマソウ

ヒルザキツキミソウ



もっと知りたい！愛泉館

～老健からの在宅復帰②～

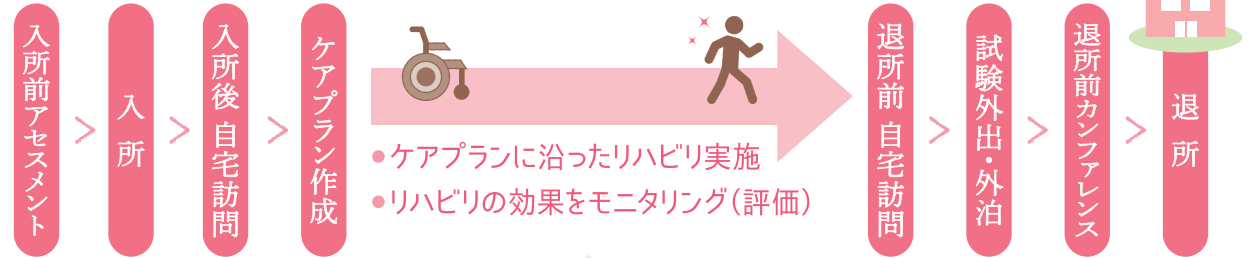


在宅で認知症が悪化し介護が困難になった方へのリハビリ

認知症と診断され、リハビリテーションにより生活機能の改善が見込まれると医師が判断した方に対して行う『認知症短期集中リハビリテーション』。老健だけが行うことのできる認知症に対する専門リハビリで、理学療法士や作業療法士、言語聴覚士が1対1で集中的な認知機能訓練を行い認知症の進行を食い止め、症状の改善を目指します。



在宅復帰支援の流れ



～主なリハビリをピックアップ～



安心できる雰囲気の中で、季節の会話や何気ないおしゃべりを笑顔で楽しむことで、ごく自然に日付を想起させ、認知機能に優しく働きかけます。

トランプ、絵かるた、カードなどを用い「この場所に何が合ったか?」と記憶の訓練を行います。ご本人の潜在能力や残存機能を引き出し、小さな成功体験を積み重ねながら自信も取り戻していきます。

集中できる環境で、ボールの受け渡し運動をしながら、同時に数を数えるなどの認知課題に取り組みます。「〇〇しながら〇〇する」ことが認知症予防や進行予防にとても良いとされています。

リハビリ担当者からのメッセージ

朝夕の挨拶や役割を持った暮らしなど、メリハリのある生活を送ることが認知症の進行を予防する第一歩です。愛泉館では生活リズムを整え、日中は懐かしい歌を歌ったり、縫い物をしたりして、「結晶性知能」(下記参照)に働きかけるプログラムを行っています。また、専門職による認知症短期集中リハビリは週3回、定期的に評価も行いながら、その方に合ったペースやレベルで優しい関わりを持つようになっています。



作業療法士 渡邊 涼

昔のことをよく覚えているのは、なぜ?

結晶性知能に働きかけて、心身ともに元気に!

子どもの頃に身に付けた手仕事などを高齢になっても覚えているのは「結晶性知能」によるもので、認知症の方でも維持できる重要な知能であることが医学的に証明されています。愛泉館では、さまざまな生活リハビリを通じて「結晶性知能」に働きかけます。

たたみ物

タオルをたたむなど簡単な動作を集中して行いましょう

ぬいもの

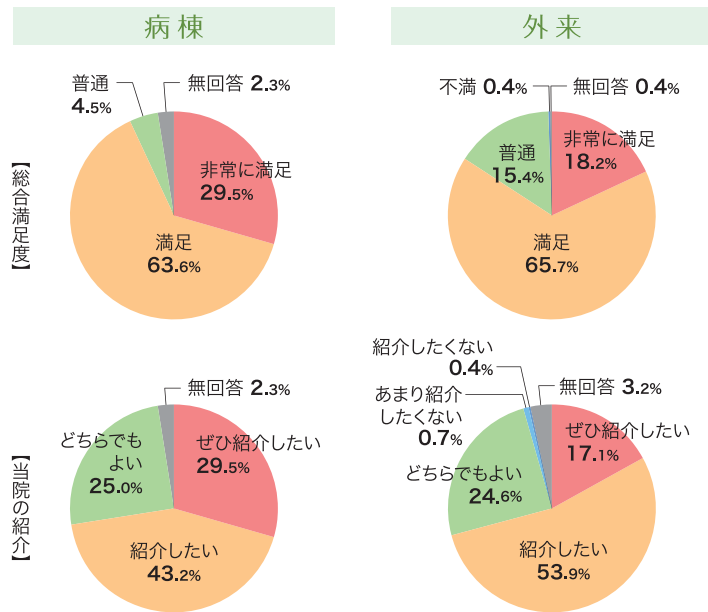
将棋やパッチワークなど、楽しめる活動をリハビリの一環に

音楽

季節の歌、懐かしい歌を音楽療法士と一緒に楽しみましょう



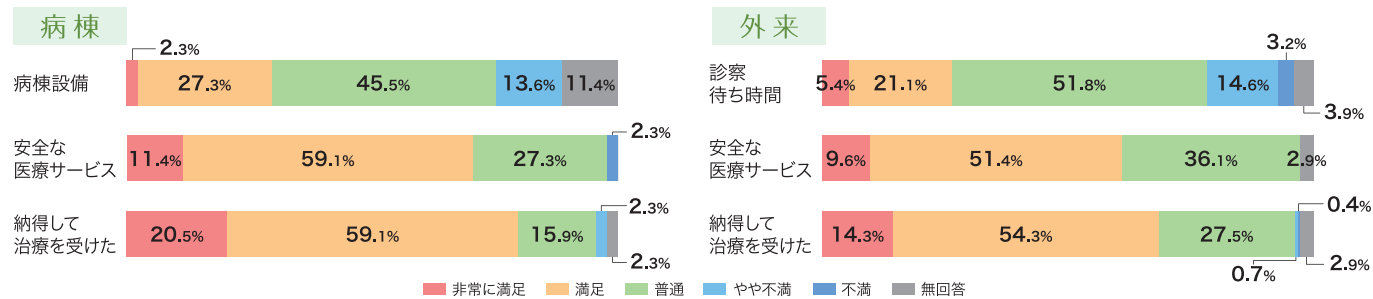
愛泉館は地域のみなさんの在宅支援を行う在宅超強化型介護老人保健施設です。



愛知国際病院

2019年度患者満足度調査のご報告

2019年12月に外来患者さん、入院患者さんを対象に満足度調査を行いました。総合満足度は「非常に満足」と「満足」を合わせて外来で83.9%、入院で93.1%という高い評価をいただきました。一方、「診察待ち時間」や「病棟設備」についてはご不満の声も届いています。安心・安全に、快適にご利用いただけるよう、職員一同改善に向けて活動してまいります。調査にご協力いただきありがとうございました。



禁煙外来
第1・3週月曜日(19:00、19:30)
渡航外来
隔週土曜日(9:00~12:00) ※その他の曜日は応相談
整腸外来
木曜日(15:00~17:00) ※月曜の内科枠でも診察可
フットケア外来
火曜日・木曜日(13:00~)



ご自由にお持ちください。詳細はホームページでもご案内しております。

愛知国際病院

新設！
専門外来のご案内コーナーを

愛知国際病院の外来では、各種専門外来を開設しています。それぞれ予約制で、より専門的な診察を提供し、ご好評をいただいています。1階待合室に専門外来のご案内チラシをご用意していますので、ご興味のある方は

Cover Story



新しい仲間を迎える春。気持ち新たに前へ進む春。本館周辺に咲き誇る約100本の桜が、今年もスタッフの笑顔をやわらかな陽射しとともに彩ります。

釣りごはん vol.3

今冬、南知多の「豊浜釣り棧橋」では例年になくイワシが大漁でした。情報を聞いてサビキを垂らすと短時間で70尾ほど釣れました。捌いて料理できるように処理するまでが「釣り」ですから、帰宅後に疲れていても頑張ります。新鮮なら刺身、焼いても煮てもつみれにしてもとても美味しい。多く含まれるDHAやEPAは生活習慣病を予防・改善し、OMEGA3は頭を良くします。さらに、ビタミンB₂は美容にも良いとのこと。美味しくしてメ



タポに効いて、頭を良くしてきれいになるなんてイワシ最高！煮付ける場合は、酢を振って皮を締め、そっと熱湯にくぐらせて臭みを消すのがポイント。30~40分煮ると小骨は気にならないくらい柔らかくなり、背骨だけを外していただきます♪ 写真・文：愛泉会 釣りクラブ

栄養満点！
イワシの煮付け

医療と介護の相談室



Q

~今回の相談者~
ケアマネジャー

私が担当している方の相談です。心不全の治療を終え、退院後しばらくはお元気でしたが、最近転ぶことが増え、むくみも強くなっています。寒いと外に出たがらず、デイサービスを中止したいとご家族から連絡が…。どうすれば良いですか？

A

入院中は治療が中心となるので、退院時にADL(日常生活動作)が低下していることも多くあります。ご本人がデイサービスを敬遠されるなら、回数を減らすか、一旦訪問リハビリに切り替えてはいかがでしょうか。訪問リハビリでは、筋力や体力をつける運動療法だけではなく、転倒しないようにご自宅の生活環境整備や動作につ

てアドバイスしています。また、むくみが強くなっていることが転倒や倦怠感の一因になっているかもしれません。心不全の再発や急な体調悪化を防ぐという面でも、訪問リハビリとともに内服管理や、体調管理のために訪問看護の導入も検討していくとよいと思います。

【今回の回答者】訪問看護ステーション「えまい」

相談窓口はこちら ☎0561-73-8154(担当/鈴木) 【受付時間】月~金曜 9:00~16:30

ホスピス 声のアルバム

患者さんやご家族からいただいた声をいくつか紹介します。

ホスピスでは、ボランティアさんがお茶をお出しするティータイムサービスを提供しています。少しでもおだやかな時間をお過ごしいただけるよう、心を込めておもてなしをしています。



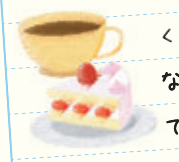
お食事はできないけれど、かき氷は毎日美味しくいただいています。私はかき氷を食べるのは子どものとき以来。ありがとう。 ご家族



あ。きたきた。今日のお茶は何にしようかなと、楽しみに待っていたのよ。この間は、男性のボランティアさんがお抹茶を点ててくださって、本当に美味しかったわ。 患者さん



お友だちがケーキを差し入れてくれたとき、コーヒーを淹れられない私に代わって、お友だちもてなしてくれて、うれしかったわ。 患者さん





食前酢、野菜スープ、サラダ付きの日替わりランチ。メインは肉と魚を用意。写真は「塩漬けボイルポークしば漬けソース」。



East Favorite

名古屋から東へ
お気に入りをご紹介

愛知県日進市
MIYABI

「和フレンチ」で
野菜との
新しい出会い



シェフの石川雅英さん(左)と
母の勝子さん(中央)、スタッフの鈴木さん(右)。



地元の日進市周辺で隠れ家的なお店を開くのが夢だった石川さん。豊明市からの移転後も、通い続けるお客さまが多いとか。

野菜が主役の和フレンチ

大根、ごぼう、じゃがいも…口に含めば、スープの味とともに野菜本来の旨味が力強く広がります。旬の野菜をムース仕立てにしたデザートも、鼻にふわっと抜ける野菜の香りに「え、あの野菜をこんなにおいしいスイーツに?」と心が躍ります。工夫をこらしたソースなど、調理すべてに手間暇かけるフレンチと、日本人好みの和の味付けが見事に融合した「和フレンチ」が「雅」さんのコンセプトです。シェフの石川雅英さんは一流ホテルなどで活躍した後、2011年に豊明でカフェをオープン。ファンに惜しまれつつ2019年に米野木へ移転、レストランとして新しいスタートを切りました。今日も料理への探究心を欠かさず、野菜のおいしさを追求し続けています。

雅 MIYABI

【住所】日進市米野木町南山919-4
【TEL】0561-78-6509
【営業時間】
ランチ 11:00~14:00
カフェ 14:00~18:00
ディナー 完全予約制
※3組限定
(月曜休み)
https://ja-jp.facebook.com/CafeMiyabi/

賛助会員募集のお知らせ

アメニティーの充実(施設環境、造園、園芸)、ホスピスでの諸行事、広報啓蒙活動、家族会の開催、ボランティアの活動、教育活動のために是非ご協力をお願いいたします。(ご入会いただいた方には年に4回広報誌をお送りいたします)下記の口座に会費をお振り込みください。

- 【①郵便局窓口利用】郵便振替口座 00890-5-3757
- 【②ATMおよびインターネット振込利用】ゆうちょ銀行(9900) 店番089 当座0003757
- 【①②口座名義】愛知国際病院ホスピス賛助会
- 【一口】1,000円(おいくらでも結構ですが、できましたら、5口以上でお願いいたします)

編集後記

春眠晩を覚えず、の季節。朝は眠いけれど、日が長くなって温かい陽射しを浴びると、うきうきしてどこかに出かけたくります。すぐに暑い夏がやってくるので、この心地いい貴重な時間を大事にしたい!みなさんも、少しだけ足を止めて大きくすーっと深呼吸してみてくださいね。花粉症の方は、花粉が収まりましたすーっと!季節の変わり目に乱れがちな自律神経が整う、うれしい作用もありますよ♪(諸石)

●これまでお寄せいただいているご意見・ご感想、大変感謝いたしております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

【医療法人財団 愛泉会】

- 愛知国際病院 ■ 老人保健施設 愛泉館 ■ 指定居宅介護支援事業所 愛泉館 ■ 日進市東部地域包括支援センター
- 訪問看護ステーション えまい ■ 住宅型有料老人ホーム カナン 【関連施設】AHI(アジア保健研修所)

〒470-0111 愛知県日進市米野木町南山987-31 Tel.0561-73-7721(代) Fax.0561-73-7728 http://aisen-kai.jp/

医療法人財団 愛泉会 広報誌「みなみやま96号」 発行日:2020年4月1日 発行人:井手宏 編集発行:法人だより委員会 編集長:近藤正嗣

※無断で複写、複製、転載することを禁じます。



スマートフォンでも
ご覧いただけます

お問い合わせ

医療について

☎0561-73-9179 (地域医療
連携室)

介護について

☎0561-74-1300

(日進市東部地域
包括支援センター)

【医療・介護についての受付時間】月~金曜 9:00~17:00 土曜 9:00~12:30